

公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会 2020年度

東海フォーラム2020運営委員会

委員長 吉田企貴

東海フォーラム2020運営委員会 委員長方針

<委員長方針>

現在、日本は人口減少に起因する地域経済の縮小という、かつて経験したことのない危機に直面しています。青年会議所の存在意義がまちづくり運動にある以上、我々が拠って立つまちの衰退は、そのまま我々自身に降りかかってきます。この観点に立った時、私たちの運動は、地域を巻き込んで展開され、社会に希望をもたらすもので無ければなりません。そのために、私たちは行動を通じて賛同と共感の輪を広げていく必要があります。

東海フォーラム2020は東海地区協議会におけるJC運動の集大成であり、その成果をメンバー間で共有するとともに、外部へと発信していく絶好の機会でもあります。私たちはフォーラムの開催を通じて、地域社会におけるSDGsの達成を促進するとともに、全ての参加者が学びを得られ、地域において自ら行動・発信していくことができるよう努めてまいります。そのためには、これまでJC運動とかかわりが薄かった人々が気軽に参加することができるような、訴求力をもつ魅力的なコンテンツを提供していきたいと考えます。これによって地域社会におけるJCの存在感を向上させ、自ら考え進んで行動する市民の創出を促すことで、持続可能な発展を地域社会にもたらしたいと考えます。また、私たちは未来への投資という視点に立ち、次代を担う子供たちにも関心を寄せる必要があります。その意味において、JCカップの東海地区予選大会の開催は、子供たちに「グッドルーザーの精神」を育てていただく機会となります。サッカーを通じた交流は、子供たちに道徳心をもった自立した人材へと成長していただくだけでなく、地域におけるコミュニティの活性化にも寄与するものと考えます。

私たちは、事業の実施によって東海地区における運動の最大化を図り、地域社会に対してJCの存在を示して参ります。そして、我々の運動に対する信頼を醸成することで「希望溢れる東海」の実現につなげて参ります。

<事業計画>

・事業名 東海フォーラム2020の実施

<SDGsゴール：17>

<SDGsターゲット：17. 17>

東海フォーラム2020開催により、東海地区の公的・官民・市民社会のパートナーシップを強化し、各地域のまちづくりに有益な情報をもたらす。

<SDGsゴール：4>

<SDGsターゲット：4. 4>

SDGs の概念を取り入れ持続性の高い地域社会を創るために、メンバー並びに地域における市民に対してSDGs の知識、必要性を伝え、課題を解決するための能力を身に着けた人材を育成する。

<SDGs ゴール：4>

<SDGs ターゲット：4.7>

地域が発展するための運動をより強めるために、メンバーが持続可能な組織の形態を考えられる機会を提供し、組織改革に向けた運動を促進できる知識及び必要性を得られるようにする。

・事業名 JCカップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会の実施

<SDGs ゴール：4>

<SDGs ターゲット：4.7>

JCカップの東海地区予選大会の開催を通じて、未来を担う子供が「グッドルーザーの精神」育むことで、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

